

子ども理解を深める保育アセスメント

～子どもを観察し理解することからはじまる保育・教育を～

保育の質を高めていくことが重要な課題となっている今、子どもをよく観察すること、子どもの思いから保育の計画を導き出すこと、そして課題を見つけ、改善していくことは保育にとって不可欠な営みです。そのプロセスをアセスメントと呼びますが、これまで保育の世界ではアセスメントという言葉はあまり使われてきませんでした。

子どもの姿から「何に興味・好奇心を抱いているのか」「何が育っているのか」「どんな環境を整えればいいのか」など、子どもをどのように観察し、子ども理解につなげていけばよいかを考えるための「アセスメント」について学び、実践につなげていきましょう。



講師

汐見 稔幸 氏

■プロフィール■

東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長・全国保育士養成協議会会長・日本保育学会理事(前会長)

一般社団法人家族・保育デザイン研究所 代表理事

専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。初代イクメン。父親の育児参加を呼びかけている「父子手帳」の著者。時おりグジャレを交えたわかりやすい語り口の講演は定評がある。保育者による本音の交流雑誌『エデュカーレ』編集長や持続可能性をキーワードとする保育者のための学びの場『ぐうたら村』の村長でもある。

NHK E-テレ『すくすく子育て』などメディアへの出演多数。

■著書■

『新時代の保育のキーワード 乳幼児の学びを未来につなぐ 12 講』(小学館)・『見直そう!0・1・2 歳児保育 教えて!汐見先生 マンガでわかる「保育の今、これから」』(Gakken)・『汐見先生と考える 子ども理解を深める保育のアセスメント』(中央法規出版)・『子どもの「じんけん」まるわかり』(ぎょうせい)・『4、5、6さいのなぜなに SDGsせいかつからまなぶ!』(世界文化社のワンダー絵本)

8月19日(月)

第1部 14:00～14:30
大阪府福祉部による
情報提供(各ブロック共通)

第2部 14:30～16:30
マッセ・市民セミナー
(ブロック研修)

<会場>

エル・おおさか(大阪府立労働センター)

南館5階 南ホール

定員:80 名

(定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。)

<申込>各市町村研修担当者を通じてお申し込みください

泉州・中部ブロック合同研修

申込締切：8月5日（月）

2024年8月19日（月）

子ども理解を深める保育アセスメント

～子どもを観察し理解することからはじまる保育・教育を～

会 場	エル・おおさか(大阪府立労働センター)
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14	
• 京阪・Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅より西へ約 300m • 京阪・Osaka Metro 堺筋線「北浜」駅より東へ約 500m	



会場

